2024年3月期　上半期決算説明会
（2023年4月1日～2023年9月30日）

2023年12月1日
株式会社シモジマ

2024年3月期　上半期
決算報告

シモジマ

1．決算概要
2．売上高　≪販売ルート別≫　前期比増減金額
3．売上高　≪商品セグメント別≫　前期比増減金額
4．財務状況
5．設備投資　2024年3月期　進捗状況
6．配当の状況と自己株式の消却

1. 決算概要

【連結】

単位：百万円

科目	2023年3月期・上半期		2024年3月期・上半期		
	金額	前期比	金額	増減額	前期比
売上高	26,017	+16.0%	28,130	2,112	+8.1%
売上総利益	8,126	+16.2%	9,338	1,211	+14.9%
売上総利益率	31.2%	–	33.2%	+2.0pt	–
販管費	7,695	+5.0%	7,718	23	+0.3%
営業利益	431	–	1,620	1,188	+275.6%
経常利益	594	–	1,809	1,215	+204.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	434	–	1,187	752	+173.1%

2. 売上高 ≪販売ルート別≫ 前期比増減金額

【連結】

単位：百万円

○営業販売部門 198億42百万円

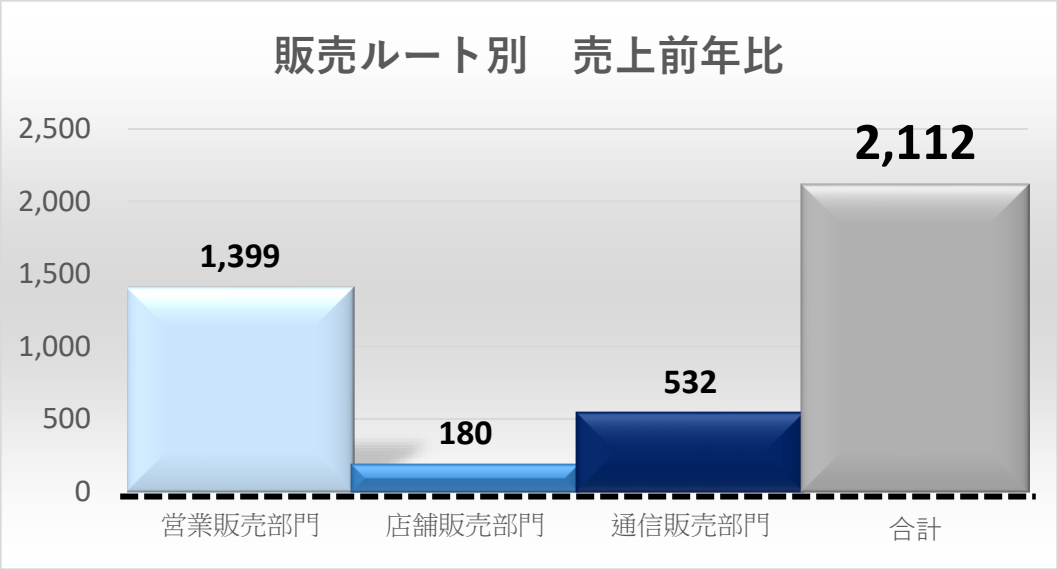
前期比：+13億99百万円 +7.6%
売上構成比：70.5%

○店舗販売部門 54億78百万円

前期比：+1億80百万円 +3.4%
売上構成比：19.5%

○通信販売（EC）部門 28億9百万円

前期比：+5億32百万円 +23.4%
売上構成比：10.0%



＜売上増加要因＞

○営業販売部門

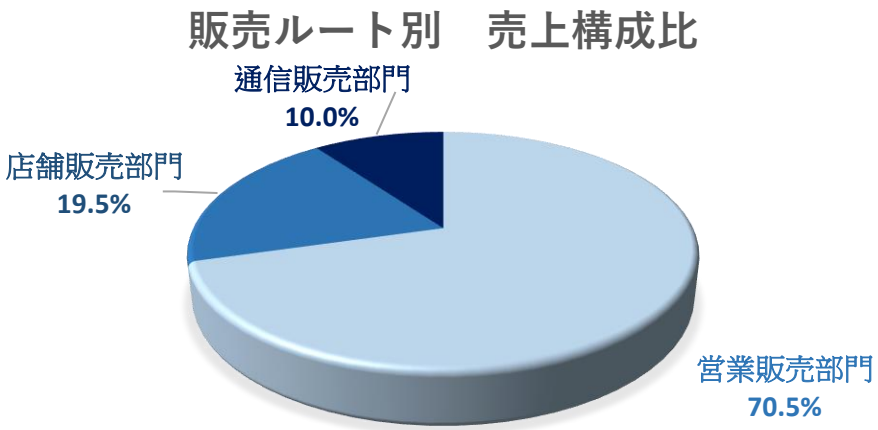
・既製品の主力商品及び環境配慮型商品拡販
・特注品受注活動に注力
・対面営業活性化

○店舗販売部門

・イベント、インバウンド回復→品揃え充実

○通信販売（EC）部門

通販サイト（シモジマオンラインショップ）
・登録会員数増加
・登録商品数増加



3. 売上高 ≪商品セグメント別≫ 前期比増減金額

【連結】

単位：百万円

○紙製品事業 47億57百万円

前期比：+1億85百万円 +4.0%
売上構成比：16.9%

○化成品・包装資材事業 168億54百万円

前期比：+17億38百万円 +11.5%
売上構成比：59.9%

○店舗用品事業 65億19百万円

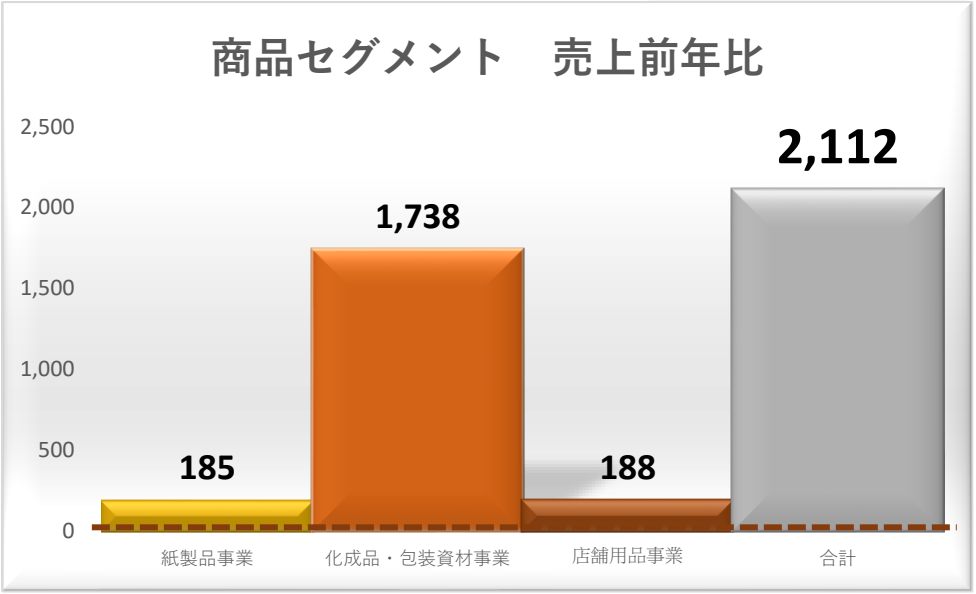
前期比：+1億88百万円 +3.0%
売上構成比：23.2%

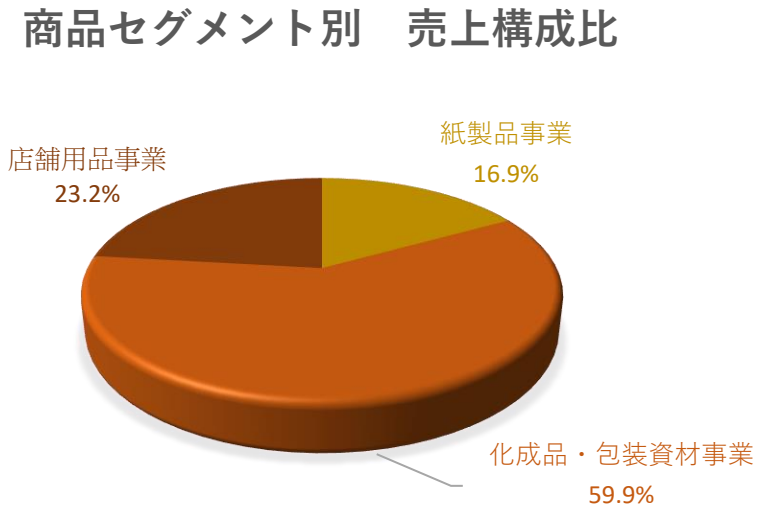
＜売上増加要因＞

○紙製品事業
- 小売業回復による需要拡大
- 環境配慮型商品販売好調

○化成品・包装資材事業
- 主力商品（レジ袋、ごみ袋）拡販
- 環境配慮型商品の伸びが堅調
- 飲食業回復→食品関連資材好調

○店舗用品事業
- 経済活動回復→店舗資材の需要回復





4. 財務状況 （1）

■損益計算書
【連結】

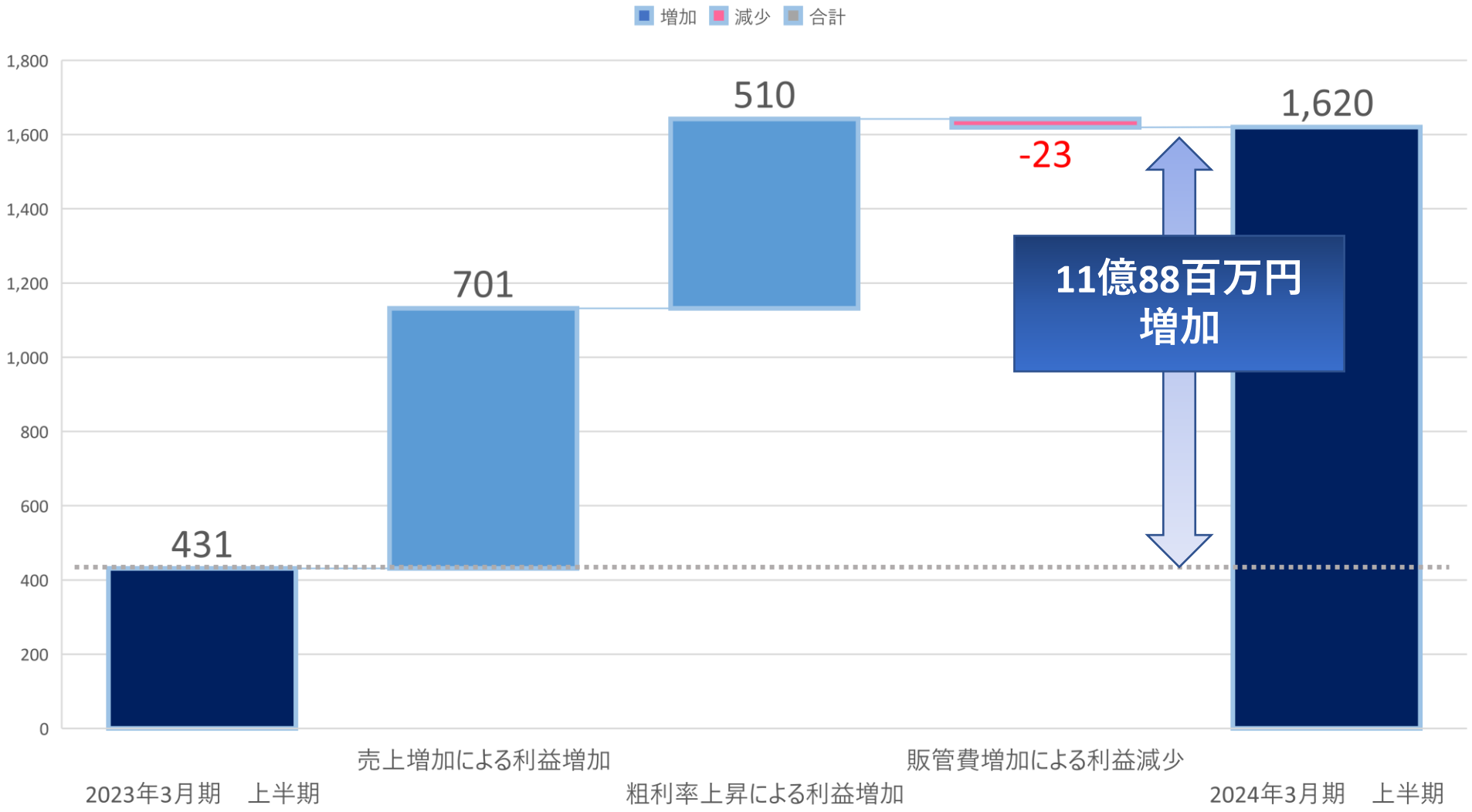
単位：百万円

勘定科目	2023年3月期 上半期	2024年3月期 上半期	増減額	前期比
売上高	26,017	28,130	2,112	+8.1%
売上原価	17,891	18,791	900	+5.0%
売上総利益	8,126	9,338	1,211	+14.9%
物流費	2,223	2,182	▲41	▲1.9%
人件費	3,290	3,264	▲26	▲0.8%
管理費	2,180	2,271	90	+4.2%
販管費合計	7,695	7,718	23	+0.3%
営業利益	431	1,620	1,188	+275.6%
営業外損益	163	189	26	+16.3%
経常利益	594	1,809	1,215	+204.4%
特別利益	171	1	▲170	▲99.3%
特別損失	48	－	▲48	－
税金等調整前四半期純利益	717	1,810	1,093	+152.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	434	1,187	752	+173.1%

前期保険解約益あり

■営業利益の増減要因
【連結】

単位：百万円



■貸借対照表　①　抜粋

【連結】

＜資産の部＞

単位：百万円

勘定科目	2022年 9月末	2023年 9月末	増減額	
現金及び預金	5,163	7,978	2,815	利益及び支払日の変更
受取手形及び売掛金	7,467	8,082	615	
棚卸資産	6,396	6,217	▲179	
建物･造作設備･機械設備　等	5,270	6,310	1,039	東大阪配送センター建替工事 等
土地	7,761	7,760	▲1	
無形固定資産	1,740	1,501	▲239	減価償却 （のれん、ソフトウエア）
保険積立金	1,553	1,698	144	
資産合計	37,991	42,058	4,066	

■貸借対照表 ② 抜粋

【連結】

＜負債の部＞

単位：百万円

勘定科目	2022年9月末	2023年9月末	増減額
支払手形及び買掛金	2,948	4,565	1,616
未払金	624	716	91
退職給付に係る負債	344	387	42
長期リース債務	286	295	9
土地再評価に係る繰延税金負債	277	277	－
負債合計	6,188	8,332	2,144

支払日の変更

＜純資産の部＞

単位：百万円

勘定科目	2022年9月末	2023年9月末	増減額
資本金	1,405	1,405	－
利益剰余金	35,982	37,765	1,782
その他有価証券評価差額金	226	325	98
土地再評価差額金	▲6,195	▲6,195	－
純資産合計	31,803	33,726	1,922
負債純資産合計	37,991	42,058	4,066

期間純利益 2,294百万円
配当金 ▲ 512百万円

自己資本比率 80.0%
（前年同期比 ▲3.6pt）

■キャッシュ・フロー計算書（抜粋）
【連結】

単位：百万円

勘定科目	2023年3月期 上半期	2024年3月期 上半期
税金等調整前四半期純利益	717	1,810
減価償却費	460	463
減損損失	5	－
売上債権の増減額（▲は増加）	▲365	▲91
棚卸資産の増減額（▲は増加）	▲882	▲345
仕入債務の増減額（▲は減少）	32	1,554
法人税等の支払額	▲95	▲776
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲692	2,314
固定資産の取得による支出	▲884	▲1,082
保険積立金の解約による収入	963	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	122	▲1,196
配当金の支払額	▲255	▲253
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲302	▲280
現金及び現金同等物の期首残高	5,848	7,111
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,975	7,948

5. 設備投資　2024年3月期進捗状況

シモジマ

○通期設備投資計画額
17億28百万円

○上半期投資額
8億86百万円

○上半期終了時点の進捗率
51.3％

○今後の予定される投資項目
・ＤＸ関連
・システム開発
・機械設備改修
・建物設備修繕
・ＰＯＳレジ入替
・販売促進

など

２０２４年３月期通期　主な設備投資実績

＜物流投資＞
・東大阪配送センター建替工事
・東大阪配送センター太陽光発電
・田沼配送センターＬＥＤ照明

＜ＩＴ投資＞
・ＤＸ関連
・基幹システム改修
・インボイス対応

＜店舗投資その他＞
・新店出店／閉店関連
・本町南ビル（大阪）設備改修
・電話設備

6. 配当の状況と自己株式の消却

※2023年11月9日に修正の開示を行いました

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
2023年3月期（実績）	11円	11円	22円
2024年3月期（実績）	11円	―	40円 18円増配予想
2024年3月期（予想）	―	29円	

自己株式消却の内容　（消却日：2024年11月20日）	
株式の種類	普通株式
消却した株式の数	610,000株（発行済株式総数の割合　約2.51％）
消却後の自己株式数	308,701株

2024年3月期
通期業績予想　今後の見通し

１．2024年3月期　通期業績予想（上方修正）
２．売上高・営業利益推移（2024年3月期予想含む）
３．2024年3月期　今後の見通し（業界動向）

1. 2024年3月期　通期業績予想（上方修正）

単位：百万円

【連結】

※2023年11月9日に修正の開示を行いました

科目	2023年3月期 実績	2024年3月期　予想		
	金額	金額	増減額	前期比
売上高	55,028	58,000	2,972	+5.4%
営業利益	2,011	3,100	1,089	+54.1%
経常利益	2,388	3,400	1,012	+42.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,542	2,200	658	+42.6%

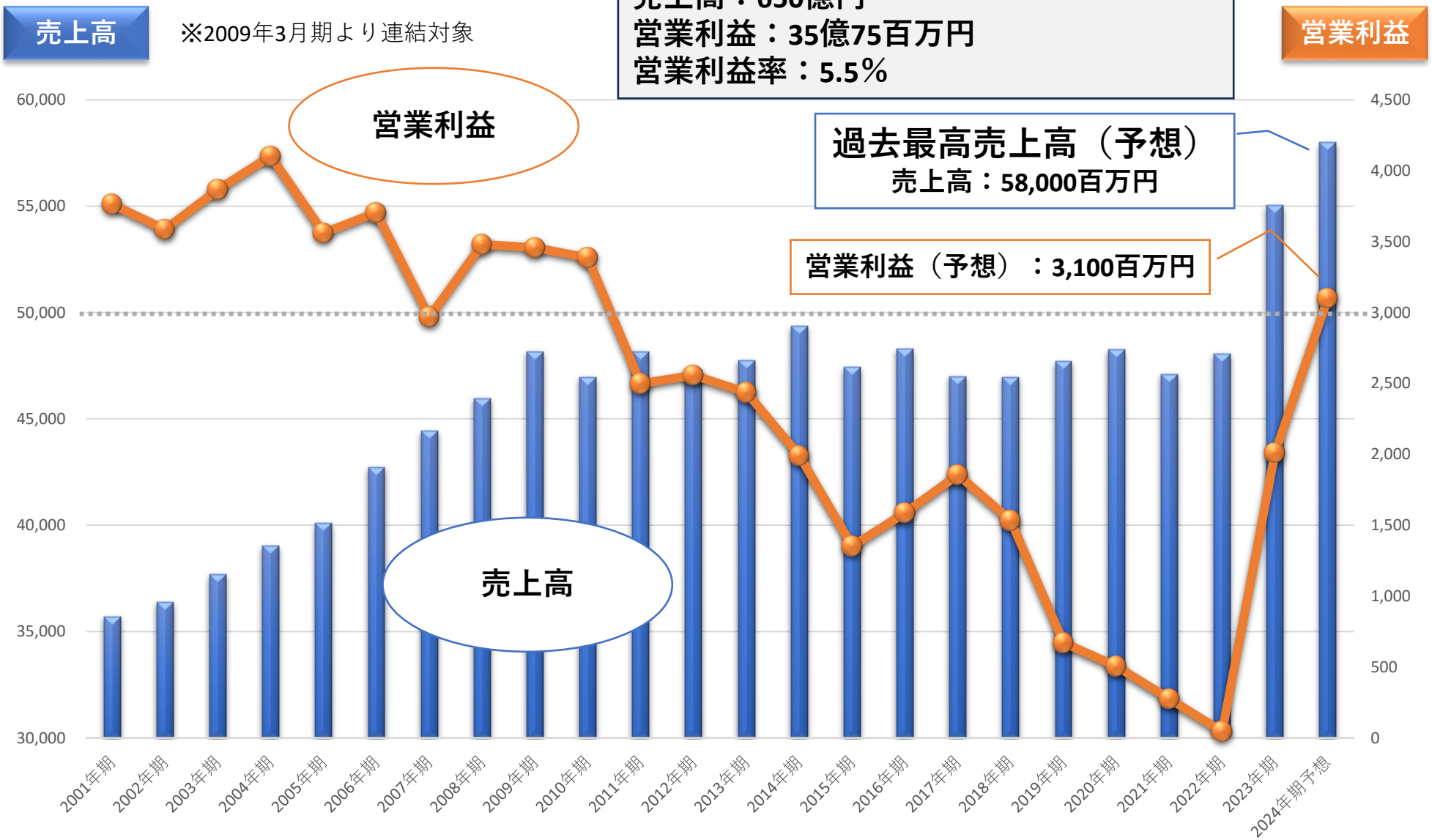
（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、当該予想数値と異なる場合があります。

2. 売上高・営業利益推移（2024年3月期予想含む）

■業績推移　【連結】

（単位：百万円）

中期経営計画最終年2026年3月期目標
売上高：650億円
営業利益：35億75百万円
営業利益率：5.5％



シモジマグループは包装資材を扱う専門商社

プラス要因

・新型コロナウイルス：感染症法第2類から第5類へ移行

▶ 正常な経済活動により催事・イベントの復活

マイナス要因

・世界情勢の不確実性

▶ エネルギー価格、原材料価格不安定、円安

その他

・サステナブルな世界の実現に向けた社会からの要請

▶ 脱プラスチック　→　環境配慮型商品の需要高まる

▶ 気候変動・人的資本投資への対応強化

・資本コストや株価を意識した経営

▶ PBR1倍超の実現

（注）今後の見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際は、この見通しと異なる場合があります。

シモジマグループの成長と発展に向けて
中期経営計画に対する活動状況

１．中期経営計画の修正と達成のための新たな施策
２．営業販売部門　ディーラー向け勉強会
３．店舗販売部門　狭小店舗　パッケージプラザ綾瀬店OPEN
４．通信販売（ＥＣ）部門　100万×100万プロジェクト

1. 中期経営計画の修正と達成のための新たな施策

中期経営計画の目標数値修正

※2023年11月9日に修正の開示を行いました

項目	2021年11月	2023年8月	2023年11月
営業利益率	3.0%	4.0%	5.5%
ROA（総資産経常利益率）	5.0%	6.3%	8.5%

中期経営計画（2026年3月期）
＜業績目標＞
・売上高：650億円　・営業利益率：5.5%
・ROA（総資産経常利益率）：8.5%

＜中期経営計画達成に向けた新たな施策＞

1．販売力強化に関する施策

①営業販売部門
・新規業界の開拓
②店舗販売部門
・狭小店舗での店舗展開とドミナント戦略による店舗出店
③通信販売（EC）部門
・ＷＥＢ広告の増強

2．商品力強化に関する施策

①環境負荷低減に貢献する環境配慮型商品の開発と普及
②持続可能な社会に貢献するサービスや仕組み

3．物流効率化に関する施策

①東大阪配送センター稼働による西日本物流の拡充

4．人的資本経営に関する施策

①初任給の引上げ及び給与水準の見直し
②役職手当の改正
③人材育成投資
④人材の積極採用

2. 営業販売部門　ディーラー向け勉強会

これまで	コロナ流行	発想の転換	大勢の方にアピール	行動制限緩和	イベント、催事復活
シモジマの強み 対面営業 対面接客	ピンチ到来 営業に行けない お客様が来店されない	商品ではなく 当社自身を 売り込もう！ オンラインでの 勉強会開催	シモジマって どんな会社？ 何ができるの？ 会社紹介 新商品紹介 環境商品紹介 特注品受注方法…	でも、 勉強会は継続！ リアルと デジタルの両立 今では 年間数百回開催	ご注文の増加

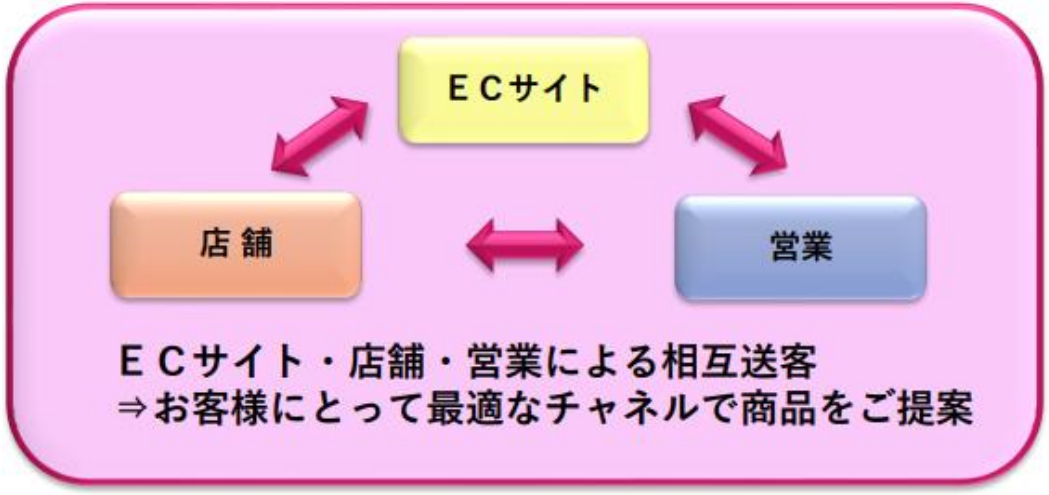
勉強会実施風景

3. 店舗販売部門　狭小店舗　パッケージプラザ綾瀬店OPEN

11月6日にOPENした
パッケージプラザ綾瀬店

新たにオープンしたパッケージプラザ綾瀬店

売場面積50㎡弱の狭小店舗ではあるものの、当社の伝統であるきめ細かな対面接客はもちろんのこと、※CRMデータ を各部門と相互連携して提案に活かす「シモジマ型オムニチャネル」 の実証店舗として運営してまいります。



中期経営計画でも紹介しているシモジマ型オムニチャネル戦略

※ＣＲＭ＝カスタマー・リレーションシップ・マネジメントの略称
顧客との関係性・コミュニケーションを管理しながら、その関係を長期的に深めて行くマネジメント手法

4. 通信販売（EC）部門　100万×100万プロジェクト

商売繁盛をがっつり支援！
シモジマ パッケージプラザ ONLINE

SHIMOJIMA MALL
シモジマモール

2026年3月期・登録商品数目標「100万SKU」

2023年9月30日現在	2024年3月期目標登録商品数	進捗率
26.3万SKU	30万SKU	87.7％

2026年3月期・登録会員数目標「100万人」

2023年9月30日現在	2024年3月期目標登録会員数	達成率
67.4万人	75万人	89.9％

※ＳＫＵ＝ストック・キーピング・ユニットの略称
在庫管理における最小の品目数を数えるための単位

※ＣＲＭ＝カスタマー・リレーションシップ・マネジメントの略称
顧客との関係性・コミュニケーションを管理しながら、その関係を長期的に深めて行くマネジメント手法

サステナビリティ活動

1．従業員、環境に配慮した設備　東大阪配送センター稼働
2．従業員エンゲージメントの向上　（永年勤続表彰・社長賞）

1. 従業員、環境に配慮した設備　東大阪配送センター稼働

シモジマ東大阪配送センター
2023年６月竣工　８月本格稼働

（１）少量多品種の保管・出荷
（２）生産性を重視した設備
（３）サステナビリティの取組み
　① 労働環境の整備
　② 再生可能エネルギーの活用

5. 従業員エンゲージメントの向上 （永年勤続表彰・社長賞）

永年勤続表彰

	合計	男性	女性
30年	**9名**	6名	3名
20年	**10名**	8名	2名
10年	**11名**	4名	7名

社長から表彰者への授与式の様子

社長賞（2023年）

受賞部署	受賞理由
商品部、MD部、経理部、総務部	契約書関連における業務効率化を達成
情報システム部	ジョブローテーションによるＩＴ人材の育成に尽力
名古屋（営）業務課	得意先に対する受注システムの推進とＥＤＩ化促進
台湾下島	過去最高の売上額達成
化成品セグメント担当者（営業部門、店舗部門、商品部、商品開発部）	化成品セグメントの新商品開発と業績向上

株式会社シモジマ
会社紹介

1．会社概要
2．沿革
3．受け継がれる　シモジマの精神

1. 会社概要

会社名	株式会社シモジマ　　ＳＨＩＭＯＪＩＭＡ Ｃｏ．，Ｌｔｄ．
創業	大正９年
設立	昭和37年4月26日
資本金	1,405百万円
本社	東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
代表者	代表取締役社長　笠井義彦 代表取締役専務　下島雅幸
従業員数	連結　1,190名　（2023年3月現在） 単独　　842名　（2023年3月現在）
事業内容	卸売販売 ◇紙製品事業 紙袋・包装紙・紙器 ◇化成品・包装資材事業 ポリ袋・粘着テープ・食品包材・紐リボン・その他包装資材 ◇店舗用品事業 ＰＯＰ用品・文具事務用品・店舗雑貨・アパレル関連資材 ・園芸関連資材
売上高	550億28百万円　（2023年３月期/連結）
営業利益	20億11百万円　（2023年３月期/連結）

シモジマ本社ビル

シモジマ浅草橋本店

2. 沿革

年月	沿革
1920年1月	包装材料卸問屋下島商店創業
1943年8月	㈱下島商店発足
1943年9月	下島荷具工業㈱に商号変更
1964年7月	㈱シモジマを設立
1967年7月	（有）彩光社に資本参加
1972年3月	浦和市（現さいたま市）に東部配送センター設置
1977年12月	東大阪市に西部配送センター設置
1989年9月	栃木県安蘇郡田沼町（現佐野市）に田沼倉庫設置。物流子会社ヘイコーハンドリング㈱（現シモジマ加工紙㈱）を設立
1995年12月	日本証券業協会に株式を店頭登録 資本金14億507万円
1996年9月	当社最大店舗の浅草橋5号館（現浅草橋本店）を新築オープン
2000年11月	本社においてＩＳＯ14001認証取得
2001年2月	東京証券取引所市場第二部上場

年月	沿革
2001年9月	名古屋市中区に同地区最大規模の名古屋店をオープン
2003年10月	東京浅草橋に浅草橋６号館（現east side tokyo）をオープン
2004年9月	東京証券取引所市場第一部に指定替え
2006年3月	子会社、下島（上海）商貿有限公司を設立
2010年4月	**㈱リード商事を子会社化**
2014年4月	執行役員制度導入
2014年8月	大阪南港物流センター開設
2017年8月	子会社、㈱エスパックを設立
2017年9月	**㈱我満商店をグループ化**
2019年10月	**ミタチパッケージ㈱を子会社化**
2019年12月	**朝日樹脂工業㈱を子会社化**
2021年11月	**㈱グローバルブランドを子会社化**
2022年4月	東京証券取引所の市場区分見直しによりプライム市場へ移行

3. 受け継がれる シモジマの精神

初期の平光マーク

現在のHEIKOマーク

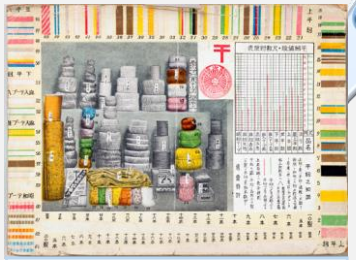
HEIKO

「平光マーク」に込められた思い

「良心的でないものは作らない・売らない」というのが創業時からの当社の信念。当社が扱う商品であることを示すマーク。
「平」＝なだらかに行き渡らせる
「光」＝仏の御心の輝き
正しく、誠の精神に則った商品を世界中に行き渡らせたい。そうした願いが込められている。

創業1920年
（黎明期）

創業当時の
店舗兼住居



下島商店時代の
カタログ

大正・昭和時代
（発展～拡大期）

昭和の時代の
手提げ紙袋

平紐

平成時代
（変革期）

再生紙手提げ袋

クリスタルパック

現在

Green SHIMOJIMA

環境配慮型商品の拡大

木製カトラリー
とクラフトBOX

宅配用資材

※既に製造販売を中止している商品も御座います。

ご清聴ありがとう御座いました。

シモジマ

お忙しいところ、弊社決算説明会に
お集まり頂き、誠にありがとうございました。

本資料の取扱いについて

本資料につきましては、情報提供を目的としたものであり、株式売買の勧誘を目的としたものではありません。
また、本資料に掲載されております計画や見通し、戦略等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び不確実な要因の仮定を前提とし、当社が独自に判断した予想であるため、実際の業績等は、今後の経済情勢、原料価格、為替レートなど様々な要因により、これらの計画とは変動する場合がございます。
従いまして、本資料の掲載内容について情報の誤りが生じた場合においては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承いただきます様、お願い申し上げます。